



私はこう考えます



Q1 市民生活に豊かさが実感できないのは、**税金の無駄使い**のせいでは？
この分野に**税金を使っ**てほしいという市民の声とずれています！



A. 十分に審議されずに導入が決まってしまった事柄、事業があり、税金の無駄遣いにつながったケースは少なくなかったと言えるでしょう。

例えば、**大和駅北地区開発**、**加波山市場**、市内循環バスヤマザクラ GO ミニなど。その結果、市民生活に密着した生活インフラなどに十分な予算を付けず放置してきたと言えるのではないのでしょうか。

ヤマザクラ GO ミニについては、お年寄りが停留所へ行くのは大変と聞きます。そのあたりを早急に改善すべきではないのでしょうか。利用される方のためにも、税金の無駄使いとならないようにするためにも。



Q.2 **大和駅北地区開発**には既に35億円がつぎ込まれ、更に継続するとか。
大型商業施設はどうなったのか？住宅予定地が破綻状態になっているのでは？



A. 大型商業施設を造る予定だった企業は既に撤退を決めています。その施設の予定地では、立ち退き補償費をもらう約束で別な所に家を建てたのに、その保障費がずっともらえない方が何人もいました。

また、団地の建設計画も、全く現実を無視したものと、**私は一貫して反対**してきましたが、事実、現在まで何の進展もありません。市長は、実現できるように言っていますが、これは全くのまやかして、市民を欺くものです。

土地(田んぼから水戸線まで)の購入は、**市が公社にお金を貸す形**で行われています。このやり方は、**過去に茨城県が採用して失敗**しているもので、この方式にも**私は異議を唱えましたが通りませんでした**。

市は今後も開発を継続し、団地の整備に必要な道路の建設等に税金をつぎ込む計画です。また、最終的には採算を度外視し、公社が自ら宅地造成に乗り出す可能性もあります。これは**膨大な無駄遣い**で、事業者だけが潤い、最終の負担は市民が負うことになり、市民サービスの低下、住民税の値上げは必定です。

→ 平成 27 年 6 月の **1 億 2 千 4 百万円の補正予算**。たった 1 枚の説明用紙でスタートしたこの事業に、市は**現時点で 35 億円もの資金を投入**しています。私はこの計画をすぐにも見直すべきと考えますが、皆さんはどうお考えですか？ 関連をウェブサイトに掲載します。ぜひご覧ください。



既につぎこまれてしまった35億円って、もし他に使えたとしたら？



A. 私なら、まずは**水道管の老朽化更新**にこのお金を使ったでしょう。岩瀬地区では 5 割が家庭に届かず、水道料金が県内で一番高くなっているのを改善するためです。また、このお金があれば、例えば、**保育料の無料化**を実現することができました！